

◇上村 裕樹（うえむら ひろき） 社会福祉科子ども福祉専攻 准教授

音更町子ども・子育て会議副委員長、帯広市健康生活支援審議会児童育成部会委員外委員 他

専門：社会福祉学・保育学 担当科目：「保育原理」、「児童家庭福祉」他

▽3／17（月）「保育教諭時代の計画・記録・評価」

保育・幼児教育は、現在、大きな転換期を迎えています。子どもの育ちや家庭での子育てを支え、子ども一人ひとりの健やかな育ちを保障するために、保育の質的向上が求められます。そのような中において、保育者が自身の保育実践をどのように振り返り捉え直すかということは、質的向上や担保を図る意味で、必要不可欠な行為となります。その際のツールとして欠かすことのできない、計画・記録・評価について、改めて役割を確認するとともに、方法についても学んでいきたいと思います。

◇江刺家 由子（えさしか ゆうこ） 社会福祉科子ども福祉専攻 教授

社会福祉科子ども福祉専攻主任

専門：体育教育 担当科目：「健康科学」、「幼児体育」他

▽3／11（火）「新聞紙を使ったムーブメント遊びの指導」

現在、幼児体育に求められていることや実際の現場で指導にあたる際に留意することについてお話しします。その後、私たちの身近にあり、簡単に入手可能な新聞紙を活用（折・畳む・破る・切る・丸める・巻くなど）し、ここに体育的要素（歩く・走る・跳ぶ・蹴る・くぐる・投げる・受ける・運ぶなど）を取り入れた運動あそびを、幼児期の年齢による発育・発達を考慮しながら紹介します。保育、教育現場や地域で指導的立場にあり、子どもたちの健康づくりに深くかかわる受講者の皆さんに、運動あそびのレパートリーを増やす機会になっていただきたいと思います。

◇首藤 晃（しゅどう あきら） 社会福祉科子ども福祉専攻 講師

2012「つながるけしき」（岡山芸術回廊特別展）2011「Design Saves Lives」（MAD ミュージアム）他

専門：彫刻・美術教育 担当科目：「幼児造形」、「児童文化」他

▽3／10（月）「紙ねんどを使って」 〈定員28名〉

紙ねんどの性質を学び、保育の現場での活用方法を考えます。

▽3／17（月）「ダンボールを使って」 〈定員28名〉

ダンボールの性質を学び、保育の現場での活用方法を考えます。

◇滝澤 真毅（たきざわ まさき） 社会福祉科子ども福祉専攻 准教授

日本保育学会広報委員会協力委員、日本臨床発達心理士会全国幹事・北海道支部隔隔長 他

専門：発達と保育環境の心理学 担当科目：「保育内容（環境）」、「幼児理解と保育カウンセリング」他

▽3／10（月）「乳児期の発達と保育」

0～1 歳児の発達過程についておさらいをして、保育の中で子どもたちの発達をとらえていくためのポイントを確認します。

▽3／18（火）「子どもと自然をつなぐ」

自然の生き物、自然現象、物理現象などを通して、「なぜだろう」「不思議だな」という感覚を育てる保育の理論と実践を紹介します。

◇若菜 直美（わかな なおみ） 社会福祉科子ども福祉専攻 講師

親子のためのオイリュトミー公演、伊達市子育て支援センター主催子育て講座「人を育てるわらべうた」講師

専門：音楽教育 担当科目：「幼児音楽」、「表現」他

▽3／11（火）「わらべうたで育つもの① 乳児から 3,4 歳児」

わらべうたで育つものとは何でしょうか。乳児から 3,4 歳児のためのわらべうたを実践し、一緒に考察しましょう。乳児のためのわらべうたとしては、阿部ヤエさんによる遠野のわらべうたを例にとり、現代の研究成果と比較してみます。1,2 歳児のためには育児支援としてお母さんと一緒にできるわらべうたを、3,4 歳児のためには「門くぐり」のわらべうたあそびを中心に実践してみます。最後に、わらべうた活動を中心とするハンガリーの 3,4 歳児クラスのビデオを見て保育者の役割を考えます。

▽3／18（火）「わらべうたで育つもの② 5,6 歳児」

わらべうたで育つものとは何でしょうか。5,6 歳児のためのわらべうたあそびを体験し、考察しましょう。ことばのリズムや拍感をとらえることができるようになってきた子どもたちの音楽的発達を助ける活動として、「わらべうたからの合奏作り」をグループワークで試みましょう。参考として、わらべうたから音楽的な基礎力を培うハンガリーの 5,6 歳児クラスのビデオを視聴します。